

入場無料

# 千本 ゑんま堂狂言

五月本公演

千本ゑんま堂大念佛狂言の本公演  
毎年五月に開催の恒例行事です  
楽しい演目が目白押し  
魅せます、笑わせます！  
ぜひ皆様お誘い合わせの上  
ご高覧たまわりますよう  
お願いいたします。

## ◆2024年公演予定◆

5月1日 ●夜の部 7時～

5月2日 ●夜の部 7時～

5月3日 ●昼の部 1時～  
●夜の部 6時～

5月4日 ●昼の部 1時～  
●夜の部 6時～

(最終演目：千人切)



〒602-8307  
京都市上京区千本通鞍馬口下ルえんま前町34  
TEL. 075(462) 3332

千本ゑんま堂 引接寺

今年は5/2の夜公演に嵯峨狂言さんをお招きする予定です！

5/2のトリで出演と、特別企画「蜘蛛の糸共演」企画。お楽しみに～！



千本ゑんま堂大念佛狂言保存会 Web サイト ▶

詳細は千本ゑんま堂狂言保存会 HP で  
enmadokyogen.info



# 千本ゑんま堂狂言について

『千本ゑんま堂大念佛狂言』は、千本ゑんま堂(正式名『引接寺』京都市上京区閻魔前町)に伝わる京都の民俗芸能です。

千本ゑんま堂は、平安時代に百人一首の一歌人小野篁が礎を作り、寛仁元年(1017)に恵心僧都源信の弟子『定覚上人』が開山した閻魔法王を本尊とする真言宗の古刹寺院です。

千本ゑんま堂狂言は、定覚上人により宗教行事「大念佛会」として布教のために始められましたが、その後一時途絶え、鎌倉時代に入ると如輪上人によって再興され、次第に芸能化されてきたと伝えられています。

京都に伝わる四つの念仏狂言(嵯峨・壬生・神泉苑・ゑんま堂)の共通点は、「カン・デンデン」の鱧口・締め太鼓・篠笛の囃子に合わせて演じられる仮面喜劇である事ですが、他の念仏狂言がすべて無言劇であるのに対し、ゑんま堂狂言だけは、ほとんどの演目にセリフが入る事が大きな特徴になっています。

1565年頃の京の景観を描いたとされる狩野永徳筆の国宝『上杉本洛中洛外図屏風』の一部に、最古の狂言図として描かれている事から、室町時代後期には、春の大念仏狂言として一般町衆に広く親しまれていたものと思われます。



上杉本洛中洛外図屏風(部分)



平成28年初上演の新演目「与平狐」

千本ゑんま堂狂言は、古くから講中と呼ばれる西陣地域の特別な家系の男性によって継承され、昭和初期には20日間公演が続くほど、長年多くの人に親しまれてきましたが、1964年に後継者不足などにより中断してしまいました。

加えてその10年後の1974年に狂言舞台と狂言衣装が不審火により焼失してしまう不幸に遭いました。幸い狂言面だけが焼失を免れた事がきっかけとなり、中断前を知る6人が中心となって1975年に保存会が結成され、ゑんま堂狂言が復活しました。

現在では、一般から入会を募集し、会員の年齢層や参加する地域も幅広く、子供・女性も参加し、会員数も約30名以上に増えてきています。

毎年5月1日～4日までの本公演に加え、ゑんま堂節分会への奉納や、自主公演、練習発表会、その他各団体などへの依頼公演など、活動の輪を広げています。

1975年に3演目だった演目数は、途絶えた演目の復活や新演目の追加で現在25を超えましたが、より一層の努力で昔の形に近づける様努めています。

狂言の原点は喜劇のため、公演中は会場全体がお客様の大きな笑い声に包まれます。

現在、京都市の無形民俗文化財に登録されています。



5月の本公演では4日かけて全演目が上演される